

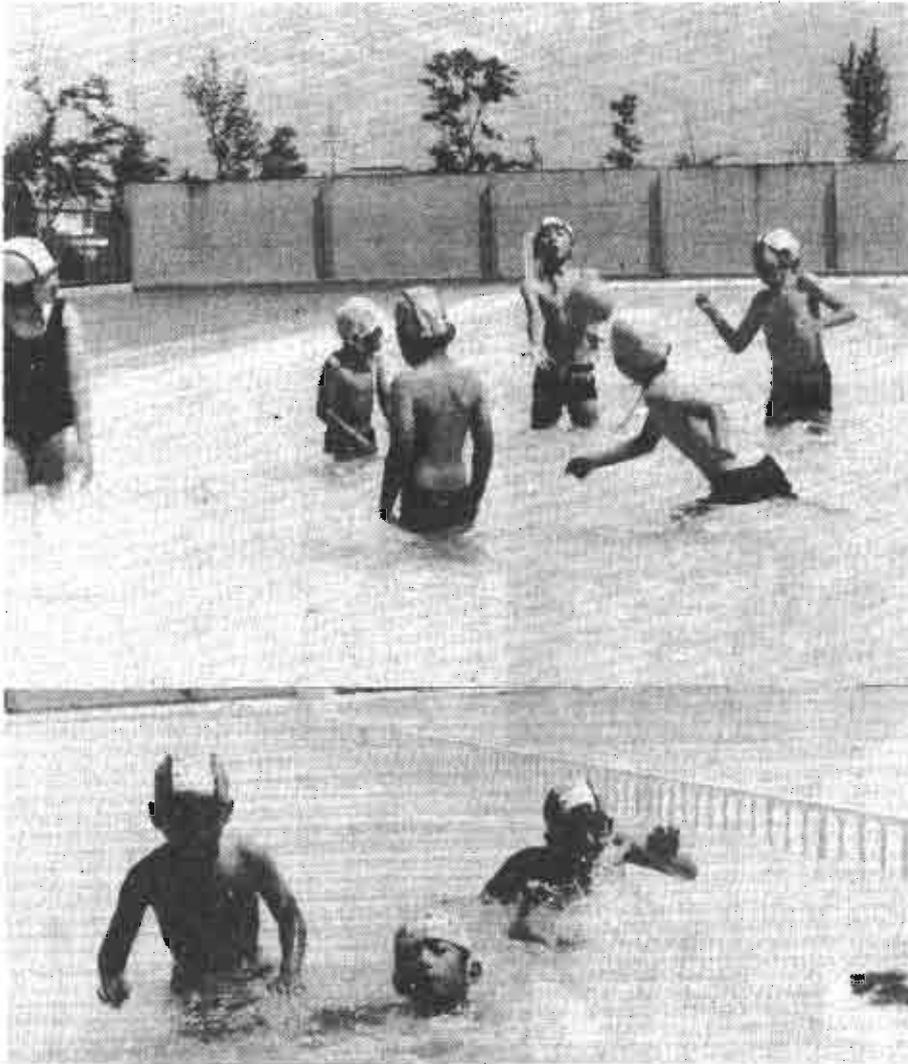
かいはつ

第9号

岡崎市特殊教育推進協議会

昭和58年7月7日発行

(題字 矢作東小 5年)



大門小 「水遊び」



子どもを見つめて
手をとり合おう

特殊教育部長

伊沢 昭

素直な純粋な眼で「先生、おはようー」「お早ようございます」と、手をさわわり、服にふれながら、周囲にまつわりついてくる。一瞬、その一瞬に、子どもたち一人一人の素晴らしい人間の姿が胸を打つ。

校長室に金魚の水槽がある。特殊学級の子が、思いついたように前に座りながら、じっと見つめている。おもしろい?と聞くと、首だけ前に動く、エサをやりなさいと、目と顔全体が語りかけてくる。ーエサを水面にながすとー、自分も一粒とって、口の中へ入れる。ニッと顔がほころぶようである。心身に障害があるからとは言え、無邪気な美しい動作である。また、この春、学区の方の協力を得て、「いちご狩り」を特殊学級の子どもたちと、行動をともした。本当に喜々として、顔面晴れやかな、子ども本来の姿であった。

この子たちを、社会を形成する一員として、なんとか、生き抜く人間として、育てたい。そんな気持ちだが、自然の間に、手を握り頭を撫で上げ、心のふれ合いを感じる。

この道に専念するものとして、一人一人を正しく理解し、実態を十分把握して、考えなければならぬ。一般の社会の人たちも勿論のことであるが、小学校、中学校の普通児の子どもたちが、思いやりとなかま意識をもって、心から理解し認識を深めなければと思う。

明るく、楽しい学校、そして、学校へ行くことが何よりも大好きになる、環境づくりに、それぞれの立場から、指導・推進したいものである。

心身障害児に最もふさわしい、教育の場が、みんなの協力と理解で、育てられ生かされることを望んでやみません。

ひらがなを覚えていった

あとをたどって

大樹寺小 石川章三

これが、あたりまえのことではあるが、近ごろではめずらしいことになった。ひらがなが一字も読めない子が入学してきた。

以前にも、ひらがなを覚えさせようとして苦しみ。結局、できなかったこともあったので、この子が、ひらがなを覚えていったあとを記録していこうと思いついたのである。

新しいランドセルに、新しい学用品。ま新しい国語の本を開いてみると、大きくて、ユーモラスなくじらが一頭。愉快な動物たちを大勢乗せて、どこまでも広くて、青い空と海の中へ、ゆつたりと泳ぎ出していく。見開きの全面に描かれた夢のあるさし絵があった。そして、そこには、ただ、ひと言。「うみ。ひろいうみ。」とだけあったのである。

そうだ。このくじらのように、慌てず、騒がず、ひらがなを覚えるという、この子にとっては、未知の大海に向かって、ひたすら進んでいこうと思っただけである。も



もちろん、この子が持つてきた、この教科書を手がかりとしてである。初めに、「うみ」を教えることにした。「うみって、見たことある？」と聞いてみたら、「うん、ある。きのう行つた。かあくと

行つた。」という答えが返つてきた。おかしいな、きのうは、日曜日でもないのに。と思つて、さらに尋ねてみたら、川のことであつた。かあくんというのは、お友達のことである。

次に、「ひろいうみ」を教える

ことにした。海というのは、川よりも、うんと大きいところであることを教えたが、よく分からない。数日後、再び、「うみ」を指さしたら、「ひろいうみ」と答えた。

一字一字の文字は覚えていなくても、たのである。「う」は、「うみ」よりも「うさぎ」で教えた方がよいと考えた。学校のうさぎに、草をやつていて、うさぎとは、大の仲よしだったからである。

以前に、「あ」を「あさがお」と教えて失敗したことがあつた。「あ」を見るといつも「あさがお」と答えて「あ」とは発音してくれないのである。そこで、「う」も「うさぎ」の最初の音だけを印象づけるために、「う、う、うさぎ」とリズムをつけて歌わせてみた。木魚をたたいてリズムをとると、おもしろがつて歌つた。そして、最初の「う」を歌つたとき、「は、い、う」です。」と教えた。こうして、ひらがなが、音を表すことに気づいてきた。「あさがお」のような四音節のものよりも「さる」「きつね」のような二音節か三音節のものの方がよいことと、口形もかわりがあることが分かつた。

これまで述べてきたことは、この記録の最初の部分である。

昭和五十八年度

親子の集い

昨年度は、多くの方のご協力により「山の学習」を有意義に実施することができました。

本年度は、「運動会」を計画しています。

一、期日 十月二十一日(金)予定

甲山中学校の特殊学級は、情緒障害、精神薄弱、身体虚弱の三クラス、十二名で、三人の担任がおり、十組と呼ばれている。この十組には、学校中のどのクラスにも負けないものがある。それは、挨拶である。

私は、今年度この「学校一挨拶がりつぱにできるクラス」の担任となつた。昨年度、国語を教えていたため、生徒たちのことをわかつているつもりでいたが、実際に担任となつてみると、生徒について知っていることは少なく、また授業も教えよう、教えようとするばかりで、生徒のことをわかっていない感じがした。これは、だるうかと感じさせられた。

ゲームをとおして

甲山中 彦坂 寿子

そこで、週に一、二回ゲームの時間を設けている。ゲームをやってみると、授業とは、全く異つた面を見ることができた。いつもは何を言つても反応が鈍く、クラスの中でも沈みがちである生徒が、ゲームだと反応が早く、鬼になる回数が一番少なかったりと、予想もしなかつたような行動を見ることができた。今後は、さらにゲーム内容を工夫をし、少人数で能力差がある生徒たちが誰しも楽しめ、しかも楽しみながら体力・判断力などの能力を高められるようにしていきたいと思つている。



会場 六名公園
内容

- どんな形式の運動会にするか。
- 子供の実態をどう反映しているか。
- 日常の学習活動をどう生かすか。
- 親の協力をどうするか。
- 現在、係で立案中です。

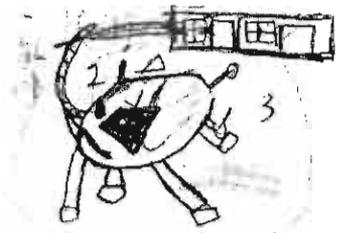
につき

根石小五年

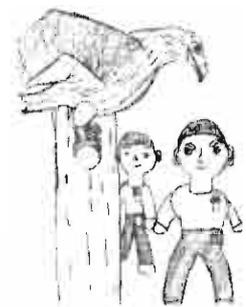
五月三十一日 火曜日 はれ
きのう、花作りクラブを
やりました。
みんなが、みずをかけました。
みんな、にわたりのまえに
あつまりました。
にわとりが、七ひきいました。
みんなは、しばふのそとに
すわりました。
しやしんもとりました。

六月十四日 火曜日
きょう、花作りクラブ
をやりました。
水かけをしました。
うえ木ばちをメインか
だんにはこびました。
ホースでやりました。
四十二こはこびました。

子どもの作品



六ツ美南部小 藤村広之



葵中 柴田達也

東公園動物園の象が、水遊びを
していると。体の大きい象が
とてもかわいらしく描けている。
色彩もきれいだね。

鳥の王様、鷲が力強く描かれて
いる。それに負けない中学生二人
の明るい顔。線描きも生き生きと
している。

異常行動とか異常気象などとい
うことばがよく使われるが、異常
とはどのようなことな
のだろうか。ある行動
やある事がら異常で
あるかどうかというこ
とは、何らかの基準に
よって判断されねばな
らない。例えば異常気
象は平年と較べてとい
うことであり、このよ
うに平均に近いものを
正常とし、平均から遠
く離れたものを異常とする見方は
日常よくお目にかかるものである。

異常と教育

愛知教育大学教授 松下 淑

これと類似したものに発達を基準
とする見方があり、これはある年
令で当然できると期待される
ことができない場合とか、そ
の年令では無理とされること
ができるような場合、異常で
あるとする。このほか病理的
な基準でも異常を考えること
ができる。

このような統計的基準ある
いは発達の基準は本来「良い」
とか「悪い」とかの価値判断
は含まないものであつて、そ
のものの状態を記述するだけのも
のである。異常と障害とは必ずし

も同じものではない。障害という
ことは、とりまく状況との関係で
決まるものである。二メートル以
上という異常な身長はバスケット
では望ましいことであり、平坦な
道路では車椅子は歩くより楽であ
る。段差をなくせば少なくともそ
こでは歩けないことは障害とはな
らない。

社会での効率性を重視する価値
観と「異常」とが強く結びついて
いる社会では、異常な状態は望ま
しくもないもの。あつてはならない
ものと考えられ、それを正常な状
態に変えるか、あるいは切り捨て

るかしようとする。障害児教育の
分野では、対象者の異常をとり除
くことが第一義的に考えられ、対
象者は治療されるべきものであり
正常の範囲に復させることが教育
の最終目標となる。そのような価
値観のもとでは、異常のままであ
っても自分の発達課題をのりこえ
社会の一員として生きていくこ
とに意義を認め、共に感ずるよう
な教育活動は期待できない。教師
は自分自身の価値観、教育観を絶
えず問い続けていかねばならない。

とかく助けてもらうだけの一方
通行的な交流ではどうしても集団
からはじき出されてしまう。自分
からとびこみ、みんなに見直され
る交流に期待をかけて……。

学級 スナック

交流は 奉仕活動から 梅園小

素足になって隣の四年生の教
室の廊下からぶきにとび出す。
四年生といっしょになって廊下を
四つんばいになって走り続ける。
はじめの頃のひざつき四つんば
いが、今ではひざをつこうとせず
に競走しているようだ。時には三
教室分をつっぱしる。くたびれて
たちどまると、息をはずませなが
ら教師や友達を見てにこにこする。



二十一年の歳月を経た 特殊学級の仲間たち

緑丘小山田 悼子

「先生はわたしのお母さんの受け持ちの先生だったんだね。」
二十年前、竜海中学校の特殊学級で担任したA子さんの愛娘が、偶然わたしの学級のお隣の学級へ転入してきました。そして母親といっしょにあいさつにきてくれたのです。健康で賢そうな子供です。感動のあまり、わたし返すことは出てきませんでした。

名、二年女子四名一年男子三名と女子二名の合計十名の一学級編成で発足しました。そして様々な問題に直面しました。その一つは特殊学級に編入された生徒たちのコンプレックスの問題です。放課になっても特殊学級の生徒は教室の窓をかたく閉じ、外へ出て遊ぼうとさえしないのです。



技術家庭の授業
調理実習

竜海中学校に特殊学級が開設された昭和三十八年の五月から二年、わたしは桑子良三先生といっしょに特殊学級の担任となりました。開設に当ってまず当面した問題は学級編成でした。普通学級の在籍者から希望者を募り、保護者との話し合いにより、三年女子一

親たちからも

「特殊学級へ編入されてから、近所の普通学級の友だちが遊んでくれなくなりました。」

「特殊学級にいた娘だと、結婚にさしつかえるのではないか。」

などの苦情や悩みを聞かされ、特殊教育に実績のないわたしは、ただ、おろおろするばかりでした。

「この子たちに最も必要な教育とは何だろうか。」
と、わたしは十名の生徒を前にして悩み、考えに考えた末、

「社会生活に適應し、自活できる能力を身につけさせること。」

を教育目標にし、個人別カリキュラムを作り、技術・家庭科と職業指導を中心に全力を傾けて指導しました。

幸い十名の生徒は卒業と同時に東レモノフィラメント工場・日本高分子管大平工場・イヨダ家具・すし屋・菓子屋・牧場などに就職できました。また努力家だったU子さんは女子高へ進学することができました。

それから二十一年の歳月が流れ、十名の卒業生は兎事に自立いたしました。

七名の女子はそれぞれの職場で伴侶にめぐり会い、今では二・三人の子供の母親となりました。

男子のYさんからは、北海道ですし屋を開いたから食べにきてほしいと年賀状がきました。

Tさんは大型ダンプの運転免許をとり、父親の経営する鉄工場の後継ぎとしてがんばっています。

Uさんは信州の牧場で元気に働いています。

昭和五十八年度

岡崎市就学指導委員会

委員と活動

●井上 恭夫氏 岡田病院副院長

●杉浦 寿康氏 小児科医 能見

●池田 勝昭氏 愛教大助教授

●田境 刻次氏 市福祉部々長

●鈴木 一二氏 岡崎児童相談所

●鈴木 拓郎氏 岡崎養護学校校長

●土本 辰雄氏 岡崎養護学校校長

●柳原 美文氏 安城養護学校校長

●伊沢 昭氏 矢東小学校校長

●太田 壽男氏 常磐小学校校長

●太田 清美氏 市教委指導部長

五月 特殊学校見学会 三校

六月 就学指導説明会

七月 児童実態調査

教育相談会

九月 障害児調査報告書作成

十月 教育相談会 三回

十一月 就学指導委員会

在学児の就学指導もおこないます。

転校希望者は連絡下さい。

* 星空は *

* きれいであった *

山中小 藪田 篤夫

「情緒障害児の治療教育」と研究テーマを決め、十二名で発足し

た昨年のサークルもふりかえってみると、今だに情緒障害児の異常行動に対して「こうして成果をあげた」という事例はあっても「こうすれば治る」という報告がない。この教育の現状では、私たちの活動にも白ずから限界があった。

「私には一週間の授業をどうするか最大の課題です。」と提案され、一時間、一時間の授業を大切にするのが、障害児教育でも最も必要なことと認識を深めた。

「こういう話し合いなら、何時開でもしたい。」と帰りの女教師の一言に、このサークルを続けてよかったなと嬉しかった。

編集後記

本年度の研究主題は昨年度に引き続き「その子の能力に応じた教育課程」と決まり、学習研究部で練られた研究方針に基づき、各校の実践をつみ重ねていき、市全体として焦点化を図り、主題に迫る研究を進めていきたいものです。障害児教育のやりがい、喜びを感ずる一日一日でありたい。